

令和6年度（第51回）岡山市文化奨励賞受賞者が決定しました

岡山市において学術・芸術の分野で中堅的存在として活躍している市民を表彰し、今後一層の研鑽を奨励するため、昭和49年に制定した岡山市文化奨励賞の令和6年度の受賞者が決定しましたので、お知らせします。

1 受賞者

学術部門 久野 洋(ひさの よう) 氏

* 詳しくは別添資料1にてご確認ください。

芸術部門 安井 祥二(やすい しょうじ) 氏

* 詳しくは別添資料2にてご確認ください。

2 選考経過

市内の関係方面に候補者の推薦を依頼し、推薦をいただきました。その後、選考委員会での選考等を経て受賞者を決定しました。

3 表彰式

日時: 令和6年11月25日(月)14時~15時

場所: 岡山市役所本庁舎3階 第3会議室

※受賞者には、本賞(賞状及び賞牌)並びに副賞(賞金)を贈ります。賞牌は大桐國光(おおぎりく)氏が制作したブロンズ浮彫です。

4 その他

受賞者の写真データが必要な場合は、お問い合わせください。

【問い合わせ先】

岡山市文化振興課 熊代・御船・上林 電話番号: 086-803-1054 内線3744

令和6年度(第51回)岡山市文化奨励賞

資料1

学 術 部 門

受 賞 者

ひさの よう
久野 洋(歴史学)



生年月日：昭和60年10月16日(39歳)

住 所：岡山市北区

■表彰理由

久野氏は、岡山県を代表する政党政治家犬養毅について、膨大な関連史料を調査・分析することにより、従来の犬養イメージを刷新し、野党政治家としての活動を詳細に描き出し、新たな歴史像の構成を行っている。

大学での研究・教育活動を通して、将来における地域歴史文化の保全の担い手の育成に尽力する一方で、市民に向けた講座等によって、広く研究成果を発表することで、地域文化の進展にも貢献している。

また、公的機関と連携して、地域の歴史資料の調査や保存に積極的に取り組み、近代岡山の政治史のみならず、災害史等、広く地域史の研究も手掛けている。これらの研究成果が、現在の地域課題にも貢献することを期待して本賞を贈る。

<略歴>

- 平成16年3月 岡山県立岡山一宮高等学校卒業
- 平成22年3月 大阪大学文学部人文学科卒業
- 平成24年3月 大阪大学大学院文学研究科博士前期課程修了
- 平成25年4月 大阪大学大学院文学研究科特任研究員として研究
- 平成26年4月 日本学術振興会特別研究員(DC2)として研究
- 平成28年7月 論文「地域政党鶴鳴会の成立」を発表
- 平成28年9月 大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了
- 平成28年9月 大阪大学から博士(文学)学位取得
- 平成29年4月 日本学術振興会特別研究員(PD/神戸大学大学院)として研究
- 令和2年4月 ノートルダム清心女子大学文学部現代社会学科講師に就任
- 令和4年5月 著書『近代日本政治と犬養毅—1890～1915—』を出版
- 令和5年3月 論文「明治期の水害対応に関する基礎的考察」を発表
- 令和5年4月 ノートルダム清心女子大学文学部現代社会学科准教授に就任

令和6年度(第51回)岡山市文化奨励賞

資料2

芸術部門

受賞者

やすい しょうじ
安井 祥二 (映画)

生年月日：昭和57年2月10日(42歳)

住 所：岡山市中区



■表彰理由

安井氏は、倉敷芸術科学大学美術学科在学中から自主映画の制作を積極的に行い、若手制作者のコンテストであるインディーズムービーフェスティバルにおいて入賞や入選を果たした。

大学卒業後には、フリーの助監督として劇場版の仮面ライダーシリーズの制作に携わり、その後、自ら映像制作会社を設立して、テレビCMや企業のプロモーション映像の制作をしながら、岡山でロケを行い、自主映画の制作にも取り組んできた。

県内大学で講師を務めるなど、若い世代との交流を通して人材の育成にも貢献しながら、岡山の映画界を牽引していくことを期待して本賞を贈る。

<略歴>

- | | |
|---------|--|
| 平成13年3月 | 岡山理科大学附属高等学校卒業 |
| 平成17年3月 | 倉敷芸術科学大学芸術学部美術学科卒業 |
| 平成16年 | 映画「青」 第7回インディーズムービーフェスティバル入賞 |
| 平成17年 | 映画「秋桜」第8回インディーズムービーフェスティバル入選 |
| | 大学卒業後 フリーの助監督 |
| | 劇場版 仮面ライダーシリーズの制作に参加 |
| | 岡山で自主映画「海より上、屋上より下」を制作 |
| 平成19年 | 天神山文化プラザでの個人上映会に、4日間で1,000人超動員 |
| 平成28年 | 映像制作会社 株式会社びよりを設立 |
| 令和5年7月 | ショートショートフィルムフェスティバル&アジア 2023
ジャパン部門 ベストアクターアワード |
| 令和5年11月 | 第30回キネコ国際映画祭 国際審査員特別賞 |
| 令和6年5月 | モンリオール日本映画祭 短編映画最優秀賞
最新作「紋の光」がWEBで公開中 |